

## 過疎地域商店街における障がい者の居場所づくりと地域の活性化 (門前たまり場プロジェクト)

金沢大学

地域ブランディング研究会

井上友貴、片山瑞木、北野裕也、湯川美奈子、吉川優花、渡辺倫可ほか 計 11 名

### 1. 活動の概要

輪島市門前町の総持寺通り商店街に NPO 法人夢かぼちゃが営む飲食店がある。ここは商店街の空き店舗を利用しており、精神にハンディキャップを持った方々が集う場となっている。この店舗運営を通して障がい者が外部との交流を持ち、自立できる環境を整えることが本活動の最終目的である。その足掛かりとして、11 月末に開催された「そばまつり」に出店した。我々は NPO 法人夢かぼちゃと協力して、ワークショップでの意見共有や新メニューの開発、並びにイベント出店でのサポートを行った。

### 2. 地域活動の具体的な内容

8 月 17 日・18 日に輪島でワークショップを行い、各々の意見を共有し、それをもとにこれからの方針を再確認した。9 月 22 日には「そばまつり」での新メニューの試作会を行って意見を出し合い、研鑽を重ねた商品を 11 月 23 日・24 日のイベントで販売した。学生はイベント本番まで、販売促進用の POP の作成等の各種準備を行い、当日は、「ごろんとおにぎり茶漬け」等の商品の販売補助や調理などの各種準備補助として参加した。各種商品の売上データ等を吟味し、それらを 3 月の「そばの市」に活かすべく、運営改善案を現在検討中である。



### 3. 地域活動の評価

今回の活動では障がい者の自立にまでは至らなかったが、外部との交流や店舗運営を通してその足掛かりとすることはできた。また、学生と NPO 法人夢かぼちゃの双方で出店等の経験を蓄積でき、これからの活動の基盤づくりには成功したといえる。そばまつりなどのイベントに地域と地縁、血縁のない若者が多数参加して良かった。

### 4. 今後、この地域活動を継続、活発にしていくために必要なもの、課題

「そばの市」で集めたデータでの不備や、商品販売等がマニュアル化されていないことなど、店舗経営で障害となるような課題は残る。先のイベント出店での経験から、不足していると思われるスキルを、NPO と学生の双方で補っていく必要がある。また今回の活動で設立したブログを活用しつつ、認知度アップのための PR 活動も行っていかなければならない。

## 5. 学生の感想

イベント出店等を経験して、これからの地域活動の糧となるものとなった。しかし障がい者の自立という目的のためにはまだまだ至らないところがあり、学内にとどまらず地域活動に参加していくことでさらに自分たちを高めていかなければならないことを痛感した。

## 6. 地域活動に対する地域からの評価

輪島市門前町は高齢化が進んでいる町であり、高齢化の町に若い人が来ることだけでも地域の活性化につながった。また、障がい者にとっても外部との交流というなかなかない貴重な時間を過ごすことができた。また、地域活動に学生が参加することで住民では気づかないことも発見することができた。これからの課題としては地域活性化の活動をしているグループがいくつかあるが、バラバラで一部の者だけの活動になっているため地域全体で取り組むための活動も必要であると考えます。